

市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.12〕

加藤 隆志・市民有志

本報告は、平成 28 (2016) 年 1 月に行われた市内及び周辺各地の「団子焼き」(どんど焼き・サイトバライ) 行事の様相を記したものである。当館では、平成 14 年 11 月から 18 年 3 月にかけて民俗講座「道祖神を調べる会」を実施するなかで講座の参加者が 16 ~ 18 年の三カ年に渡って行事を調査し、その結果を本誌第 14 ~ 16 号に「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 1〕 ~ 〔No. 3〕」として報告してきた。そして講座終了後も有志がさらに 19 年以降の行事を調査するなどしており、本稿は 12 回目の報告となる(注)。なお、本文中の地名の後の No は「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 3〕」30 ~ 31 頁掲載の「団子焼き」調査表の地点番号と対応している。

今回は、緑区の旧津久井町域の各地区の事例をまとめて報告する。これは平成 29 年度刊行の津久井町史文化遺産編編さんのための基礎データを得るための調査を行ったものであり、その内容は文化遺産編に当然活用されるが、ここでは加藤が実際に訪れた地区を中心にその概要を報告する。また、旧津久井町以外の城山町・相模湖町の何か所について写真撮影を行っており、それらについても掲載したほか、市民有志から提供していただいたデータも収録した。

○緑区

【三井】10 日(日) 午前点火。新年のつどい・どんど焼き。以前の場所は市有地で地面が掘れないということで使えなくなり、現在の神社横の児童遊園に移動した。当日は朝一番で自治会の避難訓練を行っている。各自が団子を焼くとともに太鼓部やこども育成会で汁粉などを作って来た人に振舞う。今年は囃子も行われた。

【中野神社】10 日(日) 午前 6 時に消防団が来て点火。社殿下側社務所前。神社なので燃やすものをお祓いをしてから点火する。前日午後に準備。中野内の神社に近い上町・中町・森戸の三自治会が毎年当番で回り(今年は上町が当番)、準備や点火を行う。当日も 8 時くらいまでは人がそばにいる。元々は別々にやっていたが 20 年くらい前から一緒にやるようになった。境内で行われ、神輿舎の前など、場所は動いている。現在の場所は 15、6 年前からで、本当は道祖神の所がよいが今の人は由来が分

からないという。実施日は当番自治会の判断だが、一桁の日は神社側で駄目としている。昔は 14 日に行ったが、今は成人式が 8 日になることもある。燃やすものが多く出て、神職が個人的に自治会とは別にもう一回やったこともある。

【又野】11 日(祝) どんど焼き(午前 9 時)・餅つき大会(午前 10 時)。又野自治会館前広場。又野支部社協主催・育成会及び町づくり委員会協賛。どんど焼きは育成会主催、餅つきは社協主催で、町づくり委員会が穴を掘ったりいろいろ準備の手伝いをする。団子は育成会で作って用意し、子どもが来たら渡す。午後 3 時から新年賀詞交換会。

又野は高原・宮原・道上・道下の四地区に分かれる(今は他に新しい地区が一つある)が、以前は境橋の左側下の道下の道祖神石碑のある所・自治会館横の道の突き当たり・御嶽神社の所の三か所で行っていた。子どもたちだけで行っていて、学校から帰ると薪を集めた。30 年ほど前に 5、6 年、途切れてお飾りをほっぽったままの時があり、それで復活して現在地で行うようになった。子どもたちが学校から帰るのを待っていて、リヤカーを曳いて山へ連れて行って木を拾わせ、高く積んだ。青竹を入れるとポンポン音がひっきりなしに出る。かつては朝の 4 時半ころに来て火を付け、他の地区に行くと火を付けたりした。地区によっては子どもが学校から帰った夕方に点火した。

【三ケ木・中村】9 日(土) どんど焼き。午前 9 時・消防団の到着を待って火入れ式。津久井生涯学習センター・中村自治会。以前やっていたものが一度中断し、復活して三年目となる。前日に四時間ほどかけて燃やすものを準備した。お飾りは多く集まり、自治会館の所に 7・8 日に箱を置いて入れてもらった。火入れ式の自治会長の挨拶では、無病息災・五穀豊穰の行事の説明があった。なお、三ケ木・野尻では 11 日(祝)に道祖神石碑の所にお飾りが積んであった。

【青山神社】9 日(土) 組み立て・16 日(土) 午前 6 時 30 分点火。宮前・宮下自治会。

【青山・大堀】青山では宮前・宮下以外の自治会は別の場所で行う。大堀では 9 日(土) 準備・16 日(土) 点火。

串川傍の地藏堂横。場所は点々と動いており、元々は田の水路で土手状になっていた所だったが、食糧難で麦を作るようになってできなくなり、その後は河原や別の田を借りたこともある。昔の燃やすものはもっと大きく、杉の木で飾る。かつては午前2時ころから燃やしており、大人は少しも手を出さなかった。義務教育の六三制になって中学生が先に立って行き、各集落の子どもたちが競争で燃やすものを作った。焼く団子を付けるのは梅の枝をだいたい使うが、ツゲの木の細いものを使うのが本当ともいう。

家では正月13日に繭玉を作り、神棚の横に飾る。繭玉は丸いものや繭形のほか、丸い大玉も飾る。ミカンを付ける家もあるが、繭玉の色付きは駄目だという人もいて、シミができて色が付いた繭はサビマユといい、値段が安かった。13日には餅も搗き、シラガミサマにお供えた。
〔長竹・稲生〕 10日（日）午前7時30分点火。現在は串川の河原の一角所だが、以前は河原・春日神社など三か所で行っていた。

〔根小屋・寺沢〕 10日（日）午前7時点火。寺沢の八坂神社がある自治会館敷地で場所は昔から同じ。子ども用に団子やお菓子を用意する。40人くらい来たという。引き続き、正午から自治会の新年会を行う。

〔根小屋・土沢〕 11日（祝）午前7時に子ども会会長が点火。自治会館。日取りは日曜か祝日でその都度決める。かなり前は近くに塚があってそこで行っていたが、その後は現在地。燃やす木などの積み方が特徴的で、この形になったのは3、4年前でこの形だと二時間で燃え、早く終わる。現在は木もなく、廃材を提供してくれる人がいる。子どもが少なくなり、自治会で行う面が大きくなっている。なお、土沢で祀る山王社が自治会館敷地にあり、8月8日が忌日で子ども神輿が出る。現在はその近くの日曜日（今年は7日）に行く。

〔根小屋・谷戸〕 10日（日）午前7時点火。寺沢から功雲寺へ向う自治会館下の三叉路の端で実施。団子は梅の木に付ける。

〔根小屋・根本〕 11日（祝）午前7時30分に1～2名の役員で点火。自治会館。回覧には8時からとしてある。4、5年前までは人の背丈くらいのものを造ったが今は小さい。かつては子どもたちだけの行事で大人は手を出さなかった。道祖神石碑のある道の真ん中など、三か所で行っていた。

〔根小屋・中野〕 10日（日）午前点火。串川端の空き地。昔は子どもが多かったのですが、現在地と道祖神の下側の二か所で行っていた。子どもが山へ行って枝を取ってきたり、他よりも早く燃やすなど競争で行った。他から来た

子どもに火を付けられたというような話もあった。まだ繭玉飾りを作っている家が軒ある。

〔根小屋・明日原〕 10日（日）午前点火。毎年集落に入る道の横で自治会が実施。なお、自治会とは別だが1月31日に山の神講、2月7日に稲荷講がある。

〔鳥屋〕 鳥屋地区では基本的に自治会ごとに10日朝に行われている。馬石（グランド）、渡戸（河原）、中下（自治会館横・10日午後点火）、中上（自治会館横）、宮之前・谷戸・西門（諏訪神社）、大上（自治会館）、荒井・御屋敷（河原）などで、道場では道祖神石碑の前で行っている。

〔青野原・前戸〕 9日（土）に道祖神石碑の前にお飾りが集められている。

〔青野原 下原・上原・嵐〕 9日（土）午後点火。青野原会館。青野原戸主会主催（下原・上原・嵐自治会）。午前中に三自治会の新年会を行ったためいつもより早く実施し、そのために人が多いという。昔は敷地下側の道祖神石碑の前の道路で14日朝5時ころから行っていた。そのため現在でも点火前には道祖神を拝み、お神酒を上げる。その後には上に行き、乾杯の後にお飾りをくべる。由来は不明だが道祖神の幟があり、「道祖神例祭寶前」「昭和四拾九年壱月 三組連中」と記されている。この幟も飾る。なお、青野原の長野地区も戸主会が主催している。長野では14日夕方の午後4時に行く。

〔青根 荒井・平丸〕 10日（日）午後3時点火。荒丸会館。平丸と荒井は別に行っていたが、現在合わせて36世帯と少ない上、小中学生はなく未就学児も三名ほどという状況のため一緒に行っている。平丸は道祖神の下でやっていたが新しい道路ができて旧道から移動しており、荒井にも道祖神があった。燃やすお飾りは少なく、山へ松の木など取りに行く。御札を燃やすのは無病息災、団子を食べると風邪をひかない。このほか、上野田では10日（日）に三、四世帯が燃やす程度。大河原では別に行っている。音久和も10日に畑の中で実施。東野は11日（祝）午前6時、上青根は17日（日）午前6時点火。上青根や東野では大きいものを作っている。

〔旧城山町〕 葉山島では、10日（日）には、下倉バス停横・藤木バス停から相模川へ入った道横・葉山バス停から相模川へ入った奥に飾りができている。小倉や小倉宮原では11日（祝）午後に行われ、城山地区でも11日に準備して夕方に点火する。

〔旧相模湖町〕 千木良の赤馬（柳馬場・中通り・東部自治会）では、団子焼きは14日（木）午後3～6時（月読神社）で、このほか新年会（山の神）17日（日）午後1～3時（赤馬老人いこいの家）。天神講（書き初め）24日（日）午後2～4時（大通寺）。千木良岡本や牛倉神社境内にも

11日には準備されている。

寸沢嵐・関口では、11日（祝）午後3時点火。阿津川の関口橋下。今年は9日に新年会があり、続けてにならないように11日実施となった。場所は毎年同じだが、日は毎年決まっているわけではない。以前は14日の朝5時に点火していた。書き初めが燃え上がると手があがる。団子を食べると風邪をひかない。同じく寸沢嵐・道志は毎年道祖神の小屋が作られるが、館では10日に新しい小屋ができており、団子焼きはすでに行われている。内部の男根石も燃やす。道志北の小屋は10日には昨年そのまま、南の小屋も10日にはまだ昨年のまま。17日（日）午前9時予定。

そのほか、横道9日（土）、鼠坂9日（土）午後1～3時・八幡神社、下阿津9日（土）午後3時30分から。下阿津の掲示では「御嶽講元とどんど焼き世話人」の実施となっている。橋沢・増原・山口・上阿津は11日には終了していた。

【旧藤野町吉野】10日（日）。元は道祖神の所の五か所くらいで実施していたが、中央道の高架下などでできなくなり、10年ほど前から吉野小校庭の1か所になっている。現在、三つ又のダンゴバラの木が用意できず、子どもも何人も来ないといい、旧藤野地区では全体的に子どもが少なくかなりの地区でやめたのではないかという。お飾りを作る家も少ない。

○緑区

【二本松八幡神社】どんど焼き。10日（日）午前9時50分点火。八幡宮主催で準備は神社役員が前日に行った。今年は団子や三つ又の棒が準備されず各自が持ってくるようになったため、団子を焼いている人は少なかった。そのほかは例年と変わらないが、境内で子どもたちの囃子が行われた。

【上大島】10日（日）午後2時・諏訪明神。自治会と神社主催。上大島地区がまとまって神社で行うようになって五年目という。自治会長・神社総代の挨拶、祝電の披露の後、太鼓を打ち鳴らし役員が点火。団子の用意があり、抽選会なども行われた。

○中央区

【田名・塩田】10日（日）午前11～午後3時30分ころ。天地社境内塩田自治会館。自治会主催で火の監視や消火は地元消防団が担当。団子は自治会から依頼された睦会が五個100円で販売する。事前に回覧で予約する。団子を焼く三つ又の棒は、自治会で近くの山から30本ほどを伐って用意する。正月飾りだけでは不足するので、建設会社からの提供の端材を燃やす。昨年から燃やす所を囲い、団子を差した棒を置いて焼きやすいようにする単管

パイプを氏子会が準備している。参加者は延べ180名、最大時150名ほどで、お神酒は二、三升を自治会で用意する。模擬店もあり、お汁粉一杯10円・団子せんべい三個100円のほか団子売り、売上げは自治会から社会福祉協議会へ寄付する。

【上溝本町 No.50】どんど焼き・だるまお焚き上げ。10日（日）・成田不動堂前。午前11時40分ころに着くと家族連れが自前の団子を焼いていた。不動堂の中では安楽寺の僧侶が読経をしており、その後、堂前で祈祷を行ってだるまに点火した。そのほかにも子どもの囃子も行われた。

【上溝・上番田 No.55】10日（日）午後2時。新調された道祖神石碑にお飾りが掛けられている。

【横山小学校 No.57】どんど焼き。10日（日）11時30分点火。横山小学校。主催：横山地区どんど焼き実行委員会（横山地区自治会連合会）・横どん会・てるて自治会・横山台一丁目自治会・榎西自治会・横山南部四丁目自治会・日金沢丘自治会・榎自治会・小町通自治会・下九沢団地自治会。どんど焼き世話人（役員）は例年通り90名で会場準備や燃やすお飾り分別、団子準備をする。団子は1000名用意（別に予備300名分）。今年は自治会連合会から団子券が配られた模様。連合会会長から今年の干支生まれの人に火を分け、二基のお飾りに点火。火の勢いが弱まって団子が焼けるようになるまで、よさこいや太鼓などのアトラクションがある。

○南区

【芹沢 No.65】9日（土）午後2時・三嶋神社。宮世話人が準備の主体となる。

【相模野自治会】どんど焼き。10日（日）午前9～11時。誠心第二幼稚園。相模野自治会は相模台6～7丁目（7丁目の一部は双葉自治会）の範囲で、自治会恒例の行事として松の内の明けた最初の日曜日に行われる。園庭の真ん中に場所を作り、四隅に葉の付いた竹を張って注連縄を張り巡らす。隣りにはブルーシートを広げ、持ち込まれたお飾りを一旦預かり、火の状況を見ながら火に投げ込む。また、お神酒を振る舞うテーブルを置き、塩・米・するめを置く。来たる者には、自治会の女性たちが自治会の備品のかまどや大鍋などを使ってその場で作る豚汁も振る舞われる。

【相武台グリーンパーク】どんど焼き・賀詞交換会。11日（祝）午前10～12時。新磯野四丁目公園（遊水地）。自治会主催。準備は朝から役員が行い、公園中央に若竹を四方に立て、注連縄を張ってその中の三か所にお飾りを積み上げ、年男と年女二名で点火する。お焚き上げの火柱は学業成就・家内安全・地域安心安全という。樽酒が振舞われ、そのほかの餅や芋煮汁などは有料。抽選会も

ある。団子を焼く者はなく、自治会の親睦で行われる。

○綾瀬市

〔深谷・大上山野〕 どんと焼き。14日（木）午後2時ころ。山野講中の17軒（大上8、9丁目の範囲）。講中で祀っている柳原稲荷の稲荷講当番が準備を行う。稲荷の参道と社周辺の落ち葉を掻き、正月飾り等を焚き上げる火床の穴を掘る。そして、社の扉を開き、榊とお神酒・三つ又の木に刺した団子を供える。各家でも団子を作り、三つ又の木に刺し、団子焼き当日の午前中に稲荷のほか、やはり講中で祀る地蔵と弁天にも団子を供える。近年は供える家は三、四軒になっている。このほか、かつては各家で座敷の天井に届くような大きさの繭玉の飾り付けをして、クヌギの枝に団子やミカンを刺した。現在はやっていない。

当日は、当番が稲荷社の中に置いてあるタマシイ（マユダマ）と呼ばれる石を取り出し、正月飾りを積んだ中に入れてから火をつける。その時に特別な唱えごと等はない。タマシイの石は、講中の者が団子を焼き終わるころに取り出し、稲荷社の前に置く。講中の人が団子を持って集まってくるので、当番が稲荷に供えてあったお神酒を振る舞い、参加者は挨拶を交わし、団子やスルメ、地蔵と弁天に供えた団子なども焼きながら懇談をする。講中の者は団子を焼き終わると家に帰る。正月飾りを焚き上げた火で焼いた団子を食べると風邪をひかない、一年間健康で過ごせるといふ。この場での飲食はない。

現在はどんと焼きだが第二次世界大戦前は団子焼きと言っていた。火に入れる石は繭玉で、養蚕がよくできるように願って講中の人が作ったものである。また、稲荷の分身でもある。火を付ける前にはマユダマの石を入れるのを忘れないようにした。書き初めを火に入れ、高く上がると字が上手になる、団子を刺した木を自宅の門口

に飾っておくと火事にならない、泥棒除けになるといった。理由は不明だが焼いた団子を取り替える慣わしもあった。子どもが成長して、鯉幟りや人形をお焚き上げたこともあった

旧津久井町では青野原と鳥屋で道祖神石碑と関連して行事が行われている事例が確認された。特に青野原では道祖神の幟が目される。道祖神の幟については、平成25年（2013）の南区上新戸の事例を本誌第22集で報告しており、市内では第二例目となる。また、正月のお飾りを焼く火で道祖神に係わる石を焼くことは神奈川県内に広く見られ、今回も綾瀬市深谷大上の山野講中の事例が報告され、特に養蚕との関連が窺われるものとなっている。津久井町域の調査については29年も継続しており、前述のように町史文化遺産編の編さんの中で町域全体にわたり改めて報告する予定である。

なお、今回の調査や報告でご協力いただいた方は、五十嵐 昭さん・猪俣達夫さん・小川久治さん・亀崎 誠さん・佐々木康資さん・千葉宗嗣さん・山崎 登さんである。

注

調査と報告の趣旨については「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.1〕」に掲載し、講座を実施していた3年間における調査全体のまとめと分析は16号のNo.3で行った。また、平成19年（2007）以降も研究報告第17号～24号において毎年の状況を報告しているほか、講座開始に際しての調査全体の意図や調査成果、講座の一環としての博物館活動との係わり等については、加藤隆志「地域博物館における市民による調査の実践－民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から－」『博物館の仕事』8人の学芸員著 岩田書院刊 2007 においてもまとめている。



1 三井



2 中野



3 又野



4 三ヶ木中村



5 青山神社



6 青山大堀



7 長竹



8 寺沢



9 土沢



10 谷戸



11 根本



12 根小屋中野



13 明日原



14 鳥屋道場



16 青野原



15 鳥屋道場の道祖神石碑



17 青野原 道祖神石碑への拝礼



18 青野原 道祖神の幟



19 上青根



20 青根・東野



21 青根・平丸荒井



22 葉山島・藤木



23 小倉



24 小倉・宮原



25 城山



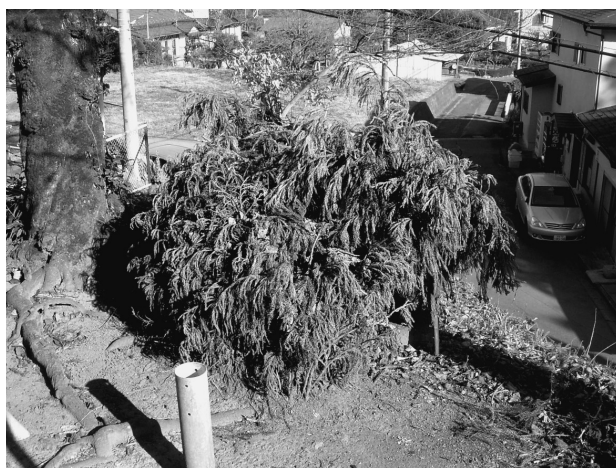
26 関口



27 寸沢嵐・道志館



28 寸沢嵐・道志館



29 寸沢嵐・道志南



30 千木良・牛鞍神社



31 千木良・岡本



32 千木良・月読神社



33 二本松



34 上大島



35 上溝本町



36 上溝本町



37 上番田



38 上番田



39 横山



40 横山



41 横山



42 田名塩田



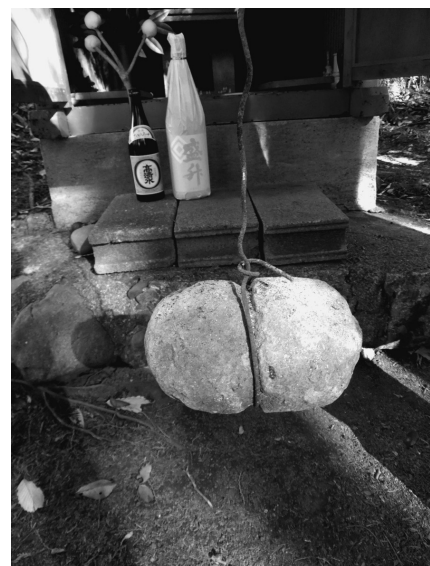
43 芹沢



44 相模野



45 相武台



46 綾瀬大上・マユダマの石



47 綾瀬大上



48 綾瀬大上・マユダマの石を取り出す